



いまもあしたも 誇れる藤沢であるために

経済産業大臣秘書 地方議会への挑



祝！大臣就任

九月二十五日、安倍新総裁のもと、党三役（中川秀直幹事長、中川昭一政調会長、丹羽雄哉総務会長）が決定いたしました。その次はいよいよ組閣です。私はやはり、甘利明代議士がどんな役職になるのかが一番の関心事でありましたが、なんと！経済産業大臣に就任

市川和広君は、私の秘書として八年余り献身的に私を支えてくれました。甘利明事務所初の公募採用秘書として、新しい視点を私の政治感覚に持ち込んでくれました。私の事務所ですんだ経験を地方自治に実践してくれる事を大いに期待します。

甘利明 経済産業大臣と

私も三十四歳の時に衆議院初挑戦しました。「正しいものが報われる社会にしたい」その一念で命をかけて頑張ったことを思い出します。自分の信念を貫き、自分に負けずに頑張ってほしいと思います。

されました。私は地元事務所におりましたので、代議士の顔をテレビで見ました。ここので、温かく応援してくださいました支持者の皆様から御礼申し上げます。私自身、決意を新たにこれからがんばる所存でございます。ご支援宜しくお願い申し上げます。市川 かずひろ

第6号
発行所
市川かずひろの会
藤沢市川名181-18
B-1001
TEL/FAX (24) 4871



一生安心のふるさと『藤沢』をつくりたい。

『希望』・・・子育て支援
出生率は一・二五となり「超少子高齢化時代」となっています。国も地方も今取り組むべき喫緊

市川かずひろ 35歳
昭和46年4月8日
藤沢鵠沼神明に生まれる
おひつじ座 B型 長男
昭和53年3月 六会幼稚園 卒園
昭和53年4月 六会小学校 入学
サッカー 六会FC
(藤沢市選抜にも選ばれる。親の転勤の為、小学校6年の夏、全国大会予選終了後、大阪へ)
昭和62年3月 湘南台中学校 卒業
サッカー部所属
平成2年3月 日大藤沢高校 卒業
サッカー部所属
平成6年3月 日本大学 法学部
経営法学科 卒業
行政法を学ぶ
平成6年4月 大和工商リース(株)入社
平成10年6月 政治の世界を志し、衆院議員甘利明代議士に師事する
労働大臣秘書
公設第二秘書
現在 川名 パークアリーナ在住

の急務は何と言っても少子化対策です。出産費用の軽減、保育所の拡充・完備、男性育児休暇の消化率向上、児童手当の引き上げなど、安心して子供を生み育てることの出来る社会を構築することが不可欠です。私は「子育てをするなら藤沢」を目指して頑張ります。

『元氣』・・・産業活性化
カントク、武田薬品、NOKなど、藤沢市内の企業が次々に撤退しています。そのため、最盛時には二兆四千万円にも達した工業製品出荷額は一兆千万円余りに激減しています。当然、税収は減少します。藤沢市はこうした工業の撤退に代わる新たな産業のタネを蒔き、

『もったいない』・・・行財政改革
藤沢市の財政は法人所得税の減少などによって厳しくなる一方です。そこで、求められるのが「ヒト・モノ・カネ」の無駄を排除、経費の効率化、すなわち「もったい

ない」ことの撲滅です。私は従来のやり方、あり方を見直し、役所業務のすべてにわたって、「民間だったらどうするか」の視点を持って見直し、行財政の改革をします。

育てていかなければなりません。私は、商業、レジャー産業、福祉、医療産業、教育、研究産業の誘致・育成のほか、観光産業の活性化等取り組んでまいります。

『生き甲斐』・・・

高齢者対策

藤沢市の高齢者人口比率は二十一％で、およそ六人に一人が高齢者となっています。市は高齢者に対してかなり予算を組んで様々な施策を講じていますが、それとともに大事なことは高齢者に色々な場面で社会参加をいただき、生き甲斐ある生活を送ってもらうことでは

ないでしょうか。子供たちと遊んだり、若いお母さんたちと交流したり、また、生涯学習教室や公民館活動などにも積極的に参加してもらい、高齢者の知恵を教え伝えていただくのです。私はその場面づくり、仕組みづくりをいたします。

『やすらぎ』・・・

環境保全

南に広がる美しい海岸、北部に連なる緑の丘陵・・・藤沢市は自然環境に恵まれており、これは大事にしなければならぬ財産です。しかし、海岸にはごみが散乱したり、大雨の跡に下水汚泥の塊が打

ち上げられていたりしていることがあります。また、北部の山林には大型ゴミが放棄されていたりしています。一度失われた自然はなかなか還ってきません。今のうちに、市民・行政が一体となって美しい自然確保に努めなければなりません。私はこういった事もしつかりと取り組んでまいります。

今月号は私の政策の大きな柱を書かせていただきました。次号からは各項目ごとにもっと深く掘り下げて書かせていただきますのでどうぞお楽しみにしてください。

秘書奮闘記

足はがくがく・・・慣れるまでは大変で

秘書の仕事は最終的には来る選挙で、自分の代議士を当選させることです。そのためにポスターを貼ったり、歩いたりして地域の方々と人間関係を常に持ち続ける努力をしているわけであります。当然、色々な会に呼

ばれることもあります。新年会、忘年会、各種総会、趣味の会、文化団体の会、盆踊り等々。事務所に入ったところは、自分の知らないところでこんなにも多くの会が活動しているんだなと思ひ知らされました。

こういった会に呼ばれることは本当にありがたいことなのですが、そこに行くことと避けて通れないものがあります。それは挨拶をしなくてはならないことです。日程は週末に集中します。一日に三十箇所のご案内をいただいても、代議士本人が顔を出せる箇所には限度があります。そこで、代理でその会に出席するのですが、ほと

んでいたきます。最初のころはもう嫌で嫌で仕方がありませんでした。今まで人前で挨拶した経験なんてありませんでした。まして、自分のことなら何でも話せますが、代議士の代理として挨拶するわけですから適当なことは言えませんし・・・

会に出席したのですが、市長、県議、市議会の方々が多数来賓で出席しているにも拘らず、来賓トツプバッターで祝辞をしてほしいとの司会の言葉に頭が真っ白になり、マイクの前に立ったときには足の震えが止まらず、あの時、自分がどんな挨拶をしたのか思い出そうとしてみても思い出せません。今では、くどいぞ！と言われるようになりますが・・・

講演が終わる懇親会の席上で先生本人にお会いできお話しすることが出来ました。『藤沢かあ！知り合いは二人しかおらんけど、ちゃんと話しくからな。頑張れよ』と温かいお言葉をいただきました。改めて頑張らなければと思ひました。

『市川 かずひろの会』 親睦会のご案内

市川かずひろの会では、下記日程にて親睦会を開催する運びとなりました。ご家族・ご友人お誘いあわせの上、ご参加くださいますようお願い申し上げます。

記

日時 平成18年10月29日(日) 午前11時
より
場所 藤沢ポウル敷地内小倉ビル3階
会費 500円
来賓 甘利明 経済産業大臣 ほか
お問い合わせ先：市川かずひろの会事務所

編集後記

八月の末に自民党参議院議員 鴻池祥肇先生のパーティーに参加しました。鴻池先生には私の結婚式にも出席していただき、事務所の方にも常日頃大変良くして頂いておりましたので、先生ご本人には会えるか分からなかったのですが、お会いできたら来年の自分の挑戦の件をご報告したいと思っております。一部二部構成で最初は石原都知事の講演でした。私は始めて聞いたのですが、物凄く面白かったですね。一瞬にしてフアンになりました。今は石原都知事の書いた本を読んでいきます。